

## 令和元年度刈谷市スポーツ推進審議会議事録

### 1 日時及び場所

令和2年2月6日(木) 14時00分～15時25分

刈谷市役所 301会議室

### 2 出席した委員 永田靖章、辻村享、太田秀樹、近藤俊行、中村兼仁、水鳥幸子、山口博子 (以上、敬称略)

欠席した委員 平野忠彦、橋本實、相羽淳子(以上、敬称略)

### 3 事務局 教育長、教育部長、スポーツ課長、普及係長、業務係長、担当者、 インターン生2名

### 4 議事

議題1 刈谷市スポーツマスタープランの進捗状況について

(1) 施設利用状況について

—資料1

(2) 実施状況調査について(H30関係各課等の実施内容のまとめ)

—資料2

議題2 令和2年度事業計画について

(1) 刈谷市ホームタウンパートナー事業の取り組みについて

—資料3

(2) 国際スポーツ大会等の誘致について

(ア) カナダ女子バスケットボール代表チーム事前キャンプについて

—資料4

(イ) 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーについて

—資料5

(ウ) その他の国際スポーツ大会について

—資料6

### 5 議事内容

議事進行：加藤スポーツ課長

○あいさつ

#### ・金原教育長

- ・昨年度新たに第3次スポーツマスタープランが策定されたこと
- ・令和2年度に刈谷市が市制70周年を迎え、さまざまな事業を計画していること
- ・聖火リレー、東京2020オリンピック・パラリンピックについて
- ・1964年の聖火リレーには、刈谷市から陸上競技連盟澤辺会長、佐野氏が出場し、今年度の箱根駅伝には富士松中学校出身の川瀬選手が出場したこと
- ・カナダ女子バスケットボール代表チームの事前キャンプ招致のため、稲垣市長始め、年明けに渡航し、覚書を締結したこと

#### ・永田会長

- ・スポーツ基本法について
- ・第3次スポーツマスタープランについて
- ・聖火リレー、東京2020オリンピック・パラリンピックについて

議事進行：永田会長、説明者：西岳係長

### 議題1 刈谷市スポーツマスタープランの進捗状況について

(1) 施設利用状況について

【事務局】資料1を説明

【永田会長】あくまで体育施設利用予定人数から算出されているため、過去の利用者数との違いの原因を明確にすることは難しい。有意な差があるか否か、統計的な処理を施すところまではやっていないため、今後、処理できればより信頼性が上がる。

(2) 実施状況調査について（H30関係各課等の実施内容のまとめ）

【事務局】資料2を説明

【永田会長】成人の週1回以上の運動実施率について、平成30年度までの目標値は、50%と設定しており、今回、新たに第3次スポーツマスタープランを策定する際には、国、県の目標値を参考に、刈谷市では65%以上と設定している。しかし、市民アンケート調査によると実施率が38.8%と前回調査よりも下がっており、調査方法について、コンサルタントを含め、しっかり伝え、実施することが大切である。令和元年度からの目標の内容には、身体活動をやっている人たちも含まれるため、実施率は変動するはず。

【辻村先生】国の働き方改革により、子供たちのスポーツ実施状況はどうなっているか？子供たちが体をしっかり動かすことは、とても大切なこと。

【太田校長】朝の部活動は、時間数としては減少しているが、参加率は変わらない。子供の体力向上は、部活動の実施と共に大切で、授業の中でも指導している。

【金原教育長】地方自治体によっては、部活動そのものをなくすところもある。刈谷市でも朝練や月、木曜日の放課後の部活動はなくなった。指導者については、素人の教員が実施しており、ご定年された人たちにご協力いただきたい。

【辻村先生】部活動など、減らした時間をどこかでカバーする等、考えて実施してほしい。

【永田会長】体育の授業については、体の動かし方を学ぶ機会であり、各児童・生徒の現状に応じて取り組む内容を教える必要がある。体育の授業の現場では、技術面から画一的に教えるため、授業についていける人とそうでない人がいる。オレについてこい形式はよくない。授業以外で自立して動けるように育てることが大切である。長年、体育関係の仕事に携わってきたが、成果が出ていないことは、とても歯がゆい思いである。

### 議題2 令和2年度事業計画について

(1) 刈谷市ホームタウンパートナー事業の取り組みについて

【事務局】資料3を説明

【永田会長】シーホース三河は、安城へ拠点が変わるのか？

【中村委員】まだ先の話になり、将来的には変わる予定でいる。アイシン精機がアイシンAWと合併するため、これまでアイシンAWを拠点としていた他スポーツが刈谷に拠点を置くことになるため、その際はお願いしたい。

【加藤課長】あくまでアイシン精機株式会社の本社が刈谷市にあるため、今のところ、刈谷市ホームタウンパートナーには残ると聞いている。

【金原教育長】学校派遣型の開催方法を考えている。昔、デンソーペガサスが住吉小学校に来て、ピッチングを児童の前で披露し、ボールを放ったときに唸る音やミットにおさまるビシッという音に触れることができ、子供たちが大変感動していたことを覚えている。他にも佐藤氏にマラソン大会の際にお越しいただき、一緒に走っていただき、走る意欲をかき立てられた。このように学校へ訪問していただき、児童・生徒の目の前で本物を見せてほしい。

【永田会長】授業で運動嫌いをつくりたくない、有効な教室であると思う。

(2) 国際スポーツ大会等の誘致について

(ア) カナダ女子バスケットボール代表チーム事前キャンプについて

【事務局】資料4を説明

【永田会長】本日から試合がある。日本とカナダが同じグループと聞いている。他にスウェーデン、開催国のベルギー。

【加藤課長】日本を除いた2カ国が出場できる可能性がある。

(イ) 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーについて

【事務局】資料5を説明

【永田会長】聖火リレーについては、約2kmを9区間で走る。

(ウ) その他の国際スポーツ大会について

【事務局】資料6を説明

【永田会長】2023年開催予定のFIFA女子サッカーW杯も2026年開催予定のアジア競技大会もあつという間に開催時期がくる。ここで、各委員からスポーツに関連して、ご自分の組織、団体に関係する内容を近況を交えて、話しましょう。

【山口委員】本日、午前中にミニテニス教室のコーチをやってきたところで、子供たちの母親たちが、元気に喜んで取り組んでいる。託児を設けているため、定員50名はすぐに埋まり、抽選するが、中には3年ぶりに当たったという人もいる。西岳係長の話にもあつたが、今年度朝日総合スポーツクラブがクラブ設立15周年を迎えたが、会員の年齢層の内訳は60歳以上が100人、70歳以上が100人の合計200人が60歳以上となっており、設立当初から運営に携わっている人が多く残っているのが現状である。年会費が必要であることがネックとなっており、市として会費に対して助成するか又は、せめて会員が加入している保険料金だけでも助成してもらえると非常に助かる。現状は、一番安価な一人、600円の保険に加入している。クラブの運営資金として、年間300万円は必要で、500～600人が活動している。会員数が減少傾向にあるため、会員が増える工夫を施す必要がある。

【近藤委員】レクリエーション協会は昭和23年に設立され、73年が経つ。協会として、維持、継続していくことは、とても大変で、難しい。自主運営しているが、組織が高齢化しており、70、80代が大半を占める。ゲートボールの構成員の平均年齢は、82歳以上で、なかなか若い人たちが加入せず、定着しない。スポーツを通してレクリエーションするが、参加者が高齢化し、会場まで行く足がなく、難しい点はある。

【太田委員】働き方改革の一環で、部活動を見直した結果、子供たちはやりたがっているのに、機

会が減っている。教員の中でも大切な位置づけとして、捉えている。刈谷キラキラ教室ではお世話になっているが、チーム関係者の皆様には、できるだけ多くの児童・生徒の眼に触れる機会として、ぜひ学校へお越しいただき、体育の授業等で指導してほしい。数名でいいので、トップアスリートにぜひお越しいただきたい。

【辻村委員】2月9日（日）に開催するかきつばたマラソンには、当初、刈谷整形外科病院の重盛院長と2人体制で行っていたが、現在は私一人となり、大変であるため、もう一人配置してほしい。参加者が安全に走れるよう、事故のないようにささやかながらサポートしたい。

【中村委員】2019年に開催されたラグビーワールドカップは、企業スポーツとして多面的な効果があると感じた。刈谷市には、多くのトップチームがあり、種目も幅広く、他地域にはない取り組みが可能である。スポーツの基盤づくりの協力をぜひお願いしたい。

【水鳥委員】スポーツ推進協議会には、市内各地区から推薦された50名のスポーツ推進委員が在籍している。活動の一つとして、市内小学校の体育館でスポーツふれあい day というスポーツをするきっかけづくりとしての取り組みを行っているが、今年度は参加者が例年に比べてすこぶる多く、体育館の許容範囲を越えて実施している。スポーツ推進委員も現役で仕事をしている人も所属しているため、運営者として参加できる委員も限られている事情がある。2月22日（土）に刈谷市体育館で開催する際も、ソフトバレーボールやミニテニスに加え、卓球、乳幼児～小学生低学年向けの忍者ランド等を開催する予定で、約150名近くが参加する予定でいる。刈谷市体育館を拠点とする総合型地域スポーツクラブの刈谷南総合スポーツクラブは、会員数が約200名で、指導者不足が顕著である。既存のスポーツについては、他クラブに加入している。

【永田会長】一人でも多くの運動好きの児童・子供が出てきてくれると喜ばしい。

【 閉 会 】